

寺内地域包括

『地域包括支援センター』は、地域にお住まいの高齢者の皆様が安心して生活を続けていただけますよう、『何でも』ご相談をお受けしている総合相談窓口です。ご本人からでも、ご近所の方のことで、離れて暮らすご両親のことでもかまいません。「こんなことを聞いても大丈夫かしら？」なんて遠慮もありません。担当の包括は市町村の窓口からも問い合わせ出来ます。個人の秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。



直通 ☎ 018-853-6300

寿光園居宅

事業所には現在4名の介護支援専門員が地域で暮らしているご利用者の悩みや相談に応じ、自立生活ができる様に支援させて頂いております。生活環境・介護環境は一人ひとり異なりますが、そのような皆様一人ひとりに適したサービスプランを提供するよう心がけています。私達は、地域の皆様の個々の生活に関わらせてもらう中で、人生の勉強をさせて頂いていると感じております。そのような経験を積ませてもらった介護支援専門員が対応させて頂きますので、一人で悩まず不安を抱かず、一緒に考えますので、お気軽にお電話ください。

直通 ☎ 018-893-5761

ヘルパーステーション

『住み慣れたご自宅での日々の暮らしのお手伝いをいたします。』

居室の清掃・調理・洗濯・買い物などの日常生活上の必要なサービスや、入浴介助・外出介助（通院）をおこなっております。

丁寧な介護支援サービスで安心感を持っていただけるように、また、ヘルパーの訪問を楽しみにしていただけるように、これからも信頼されるヘルパーステーションを目指して参ります。



TEL 018-880-1050

ショートステイ

ご利用者の心身の状況や、ご家族の精神的・身体的な介護負担の軽減を図る為、短期間施設利用し、日常生活上の支援や機能訓練等を職員が行っております。『急に身体を動かす事ができず、自宅で過ごす事が難しくなった』『在宅介護をしているが、時々休む時間がほしい』『冠婚葬祭等で一時的に自宅で介護をする事が難しい』等、ご利用者、ご家族のさまざまなご要望に応じ、ショートステイを利用される事で、在宅生活を継続出来るようサービスさせて頂きます。



TEL 018-880-1050

職員募集

詳しくは
018-880-1050
(滝田)までご連絡ください。

編集後記

今年はコロナ禍の中、秋田市内では暴風雪による停電や観測史上最大の降雪など大変な冬となりました。当施設でも除雪の回数は例年よりも多かったものの、幸いにも停電の影響はなく、また、ご利用者様・職員ともにコロナをはじめとする感染症の発症もなく過ごすことができております。まだまだ予断を許さない状況ですので、感染症対策は引き続き徹底して参ります。

立春・雨水・啓蟄と過ぎ、もう春彼岸、そして桜開花の知らせ等、日々春に向かっていく今日この頃ですが、これからご利用者様一人ひとりに寄り添い、笑顔の花を咲かせていけるよう接して行きたいと思っております。



寿光園の屋根の下

第140号
令和3年3月
発行元
高清水寿光園

定年退職にあたり...

高清水寿光園
介護係長 堀井ひとみ

今年の冬は例年になく大雪となり、大変な思いをされたことと思います。ようやく雪も解け春が近づいてきています。コロナ禍の中、多くの方が不安な思いで過ごされていることと思います。待ちに待ったワクチンの予防接種もいよいよ始まり、普通の生活に戻る日が少しずつ近づいてきているようですが、今しばらく予断を許さない状況は続きそうです。入居者の皆様には1年以上に及ぶ面会制限で迷惑をおかけする中、フィルム越しやオンライン面会を取り入れ少しずつ不自由の解消に努めているところです。また、普段会うことが難しい遠方のご家族様ともつながる環境を作れたことは、コロナ禍の工夫から生まれた発見でもありました。小さな画面の中でお互いの顔を見合わせるだけで安心される様子や笑顔がとても印象的です。改めて人と人との繋がりがや絆の大切さが再確認されているように思います。さて、私事となりますが、3月で定年退職を迎えることとなりました。最初の勤め先である当法人の障害者支援施設「雄高園」は定員を50人から80人へ増員する年に募集があり、応募したのが当法人職員となるきっかけでした。右も左もわからない中で、ただひたすら先輩の後について仕事を覚えるのに必死になっていたことを記憶しています。ご利用者と一緒にお茶会をすることも多く、話を聞いてもらったり、時には悩み相談を引き受けてくれたりすることもしばしばで、信頼関係が深まっていたように思います。また、ご利用者の一泊旅行や個人外出（コンサート、映画、食事等）に同行し一緒に過ごしてきた日々等、懐かしいたくさんの思い出がよみがえってきます。そして現在、最後の赴任先である「高清水寿光園」へ転勤となり12年になりました。介護現場をまとめる立場ということで、時間があれば現場に入り他職員と一緒に汗を流すことやフロアの職員とのコミュニケーションを心がけてきました。そうすることで、ご利用者のADLや心理面の変化、職員の精神面などを知る機会にもなりました。そして、誰でも話しやすい雰囲気を知ることができました。（実際はどうだったのでしょうか……）日々、職員・ご利用者の方との関わりの中で、皆さんの笑顔や優しさに触れられたこと、そして何よりも家族の支えや協力があつたからこそ、ここまで続けてこられたと皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。私がかつとさんとのふれあいや心の支えを必要としています。この先も、先の見えないwithコロナの生活はまだまだ続きそうですが、一日も早く「行きたいときにいきたい場所に行き」、「会いたいときに会いたい人に会える」、そんな普通の生活に戻って行くことを信じて、今は身近な中で楽しめることを見つけていければと思います。

2東

2東フロアは、男性5名、女性27名の計32名のご利用者が生活されており、タオルやエプロンたたみを手指訓練もかねた軽作業として実施しております。



今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、外出の中止や行事の縮小となりました。

春にはベランダに出て、満開の桜に感動したり、夏の行事の際にはスイカ割りをしてハッスルしたり、つい先日は7段飾りのお雛様を見学に行ったりと、フロア内ではありましたが、「季節を感じる事」ができる活動を実施してきました。

また、ご利用者の誕生日には、在勤職員がバースデーソングを歌い、お祝いしております。ご利用者おひとりおひとりが安心して生活していただけるよう、今後も支援に努めて参ります。



1東

1東フロアは32名のご利用者が生活しております。

今年度の活動として年忘れお楽しみ会が行われ利用者皆が参加しフルーチェを作りました。その後サンタクロースよりプレゼントを手渡されると満面の笑みを浮かべていました。

今年度は新型コロナにより外出する機会や面会が制限されとても残念でした。

今後もご利用者の笑顔を多く引き出すことが出来るよう支援して参りたいと思います。



特 養

令和2年度 各フロアの取り組み



今年度は、お目にかかる機会が少なく、申し訳ありませんでした。職員一丸となり、今後も支援して参ります。

介護の取組

コロナ禍で今まで当たり前に出ていたことが当たり前ではない日常に変わり、姿の見えないウイルスにご利用者様も職員も不安と戸惑いを感じながら令和2年度はスタートしました。生活の全てにおいて何かしらの制限が課され、楽しみの一つでもあるクラブ活動や園内行事も休止や規模を縮小しての開催を余儀なくされました。季節を肌で感じられるドライブ外出やショッピングは中止となりましたが、少しでも季節を感じられるようにフロア毎に飾りつけに工夫を凝らしたり、クリスマスや餅つき・節分では相談員がサンタクロースや鬼に扮して各フロアを回ったりと、ご利用者様から大好評でした。

ご家族様との面会もオンラインやフィルム越しへと変わり、そばにいるのに身体に触れたり手を握ったりすることが出来ないもどかしさや、久しぶりに会話を楽しむ嬉しそうな笑顔に職員も一緒に一喜一憂したり…一日も早い終息を願うばかりです。

さて、今年度も昨年度に引き続き、ご利用者様が安全・安心な生活を送れるよう介護員の技術と資質の向上を目的に二つのテーマを掲げ取り組ん

できました。

一つ目は「誤薬防止」です。処方されたお薬は一人ひとりの病状に応じて異なるため、間違いがあってはならないものです。マニュアル通り、配薬・服薬前には必ず薬袋の名前やいつ服薬するものなのか、ご本人で間違いがないか複数で確認し、服薬後にも空袋を確認します。薬を扱うことの重大性を認識し、さらに気持ちを引き締めて取り組んでいきます。

二つ目は「事故防止」です。ご自身で動ける方も、介助が必要な方も様々な方がおり、皮膚の弱い方も多いため、安全に配慮しながら対応しております。もしヒヤリハットが起きた際には必ず何が問題であったのか、繰り返さない為にはどうしたら良いのか、今後の支援方法を話し合い、情報を共有して統一した対応を確認します。

どちらの目標も介護員だけでは達成できるものではなく、看護・栄養・相談員等すべての協力のもとで成り立つものと思います。今後もより良いサービスを提供できるようチームワークを大切に、安心・安全で穏やかな生活を提供できるよう職員一同頑張参ります。

2北

2北フロアは28名の利用者が生活しております。午前は日課であるエプロンたたみを行って来ております。余暇活動としてカラオケ・音楽鑑賞・エアホッケー等行い、職員と共に楽しみながら笑顔の絶えないフロアです。一人の利用者が歌うと他の利用者が踊ったり、エアホッケーを行うと男女問わず声を出し合い応援したりといつも賑やかな雰囲気に包まれております。今後も利用者へ寄り添いながら笑顔を引き出し、安心して生活できるよう支援していきたいと思っております。



1北

1北は特養とショート併設のフロアです。個室の他、2人部屋のあるフロアであります。コロナ禍で様々な行事等が縮小となり利用者の方々にはご不便をお掛けしています。日常会話や健康体操など、毎日の生活にメリハリが持てるよう日々支援致しております。

日常のほんの一部ですが、写真を添えて感じて頂けると幸いです。



※掲載している写真はご本人、ご家族のご了承をいただいております